



気さくで穏やかな性格のあきよさんです

## 数え100歳 百寿のお祝い 94歳まで行商を続けました

満99歳を迎えた板倉あきよさん（◎平磯）に、11月2日（月）、町から百寿のお祝い金などが送られました。あきよさんは1男7女の5女として平磯地区で生まれ育ち、6人の子ども、15人の孫、26人のひ孫に恵まれました。終戦当時の食べ物が少ないときは米谷方面へ行商に歩き、海産物と米の物々交換で家計を支えてきました。その行商は94歳になるまで続けられ、今でも、あきよさんのお得意さんから注文が入るそうです。現在は足腰が弱くなり、ベッドの上での生活を送っていますが、家族との会話を楽しみに暮らし、健康の秘訣は規則正しい生活を送ることだそうです。これからも、ますます元気にお過ごしください。

## ホタテの耳吊りスタートです

歌津の泊浜地区でホタテの耳吊りの作業が行なわれています。耳吊りという作業は、大きさ2センチほどのホタテの稚貝を1年間海中のネットに入れて8センチくらいまでに育てたあと、ホタテの耳と呼ばれる貝殻の端の部分に穴を開け、ホタテが密着しないようにロープのピンに吊るすという作業です。その後、ホタテは10カ月ほどで出荷できるようになるということです。

この作業は、朝の3時から始めているそうで、皆さん黙々と作業を行っていました。

（写真・文：戸倉中学校2年生、高見智さん）※22ページ参照



すべて手作業で行われます



町と協働し、大切なやまつつじを守っていきます

## 来年もきれいなつつじが咲きますように

11月15日（日）、田東山つつじ保存会の皆さんが、山頂一帯のつつじに繁茂しているツタ類の除去や株まわりの清掃活動などを行いました。

ここ数年、田東山のつつじは、環境の変化や病虫害の発生により、枝枯れなどが目立ち始め開花状況が悪くなっています。そこで、今年の5月に町内有志による田東山つつじ保存会が立ち上げられ、町の「おらほのまちづくり支援事業」の支援を受けながら、除草作業や保全マニュアルを作成するための研修会などが実施されています。

この日の活動には、97名の会員のうち40名が参加し、開花が良かった頃の田東山にもどるようにと熱心な作業が行われ、つつじのまわりは見違えるほど綺麗になりました。

## 釣りを楽しんだあとは ごみを持ち帰りましょう

財団法人日本釣振興会では、10月18日（日）の「水辺感謝の日」にあわせ、その前後1週間に全国的な釣り場清掃による環境保全の啓蒙活動を行っており、当町では、10月22日（木）午前8時から、袖浜民宿組合や町内の釣具店関係者など約30人の皆さんが、志津川旧漁港から袖浜漁港一帯のゴミ拾いを行いました。

代表の遠藤周佑さん（◎南町）は、「これも皆さんに釣りを楽しんでもらうため。これからも飽きずに続けていきたいと思います」と、笑顔で話してくれました。



台風18号の影響で大量のごみが集められました



歌津会場 婦人防火クラブの皆さんによる、豊作ダンス2009



志津川会場 木の实拾い競争では上手にはしを使っていました

# 南三陸町の 秋の祭典

11月は、町内各地で秋のお祭りが開催され、どの会場にも大勢の行楽客や買い物客が集まり、大きな盛り上がりを見せました。



激しく暴れるサケとの格闘



大自然の中で行われた入谷打囃子

## 山里の秋を訪ねて3千人

11月8日（日）、「ひころの里秋まつり」が開催され3千人のお客さんが山里のまつりを楽しみました。朝採りの新鮮野菜が直売されたほか、伝統芸能の「入谷打囃子」や「餅つき大会」など、入谷ならではのイベントが行われました。また、昨年も注目を集めたチェーンソーアートの実演コーナーには大勢の見物客が集まり、チェーンソーのみで彫刻を作りあげる技術と迫力を楽しみました。



チェーンソーアートの完成作品

## 南三陸町ならではの山海の幸が大集合

11月1日（日）は志津川魚市場を会場に、11月8日（日）は平成の森を会場に、「第5回南三陸町産業フェア」が開催されました。志津川会場には約60店舗ほどの出店が並び、なかでも1回500円で行われた「サンマのビニール袋詰め放題」が大人気。またたくまに売り切れとなりました。

歌津会場では、100キログラム限定で販売された活アワビが即完売となったほか、恒例の「ホタテ釣りコーナー」や「まぐろかぶと焼き」が人気を集めました。

メインステージでは、どちらの会場も趣向を凝らしたイベントが行われ、会場を盛り上げていました。

## 県内第1位の水揚げを誇る 秋サケの祭典

11月8日（日）、志津川魚市場を会場に「第2回さけまつり」が開催され、1万3千人の人出でにぎわいました。

「試食コーナー」では、「チャンチャン焼き」や「サケ鍋」がふるまわれ大勢の人が列をつくって並びました。サケのつかみどりには、小さい子どもたちも挑戦！大きなサケを両手でしっかりつかむと、満面の笑みで集まったお客さんに見せていました。また、サケ料理の実演コーナーでは、職人さんの素早く正確な包丁さばきが披露され、まわりのお客さんは感心した表情でプロの技を見つめていました。



笑顔でおもてなし

## 志中生の声かけも元気はつらつ

11月15日（日）、志津川南町のおさかな通りで「志津川おさかな通り大漁市」が開催され、新鮮な魚介類などが販売されたほか、大漁市の開催にあわせて「街なか交流館」のオープニングセレモニーも行われ、活気あふれる1日になりました。

この日は、志津川中学校1年生の皆さんが体験学習の一環として、各出店の売り子やクーポン券の販売などを行い、通りには志中生の元気な声が響き渡っていました。